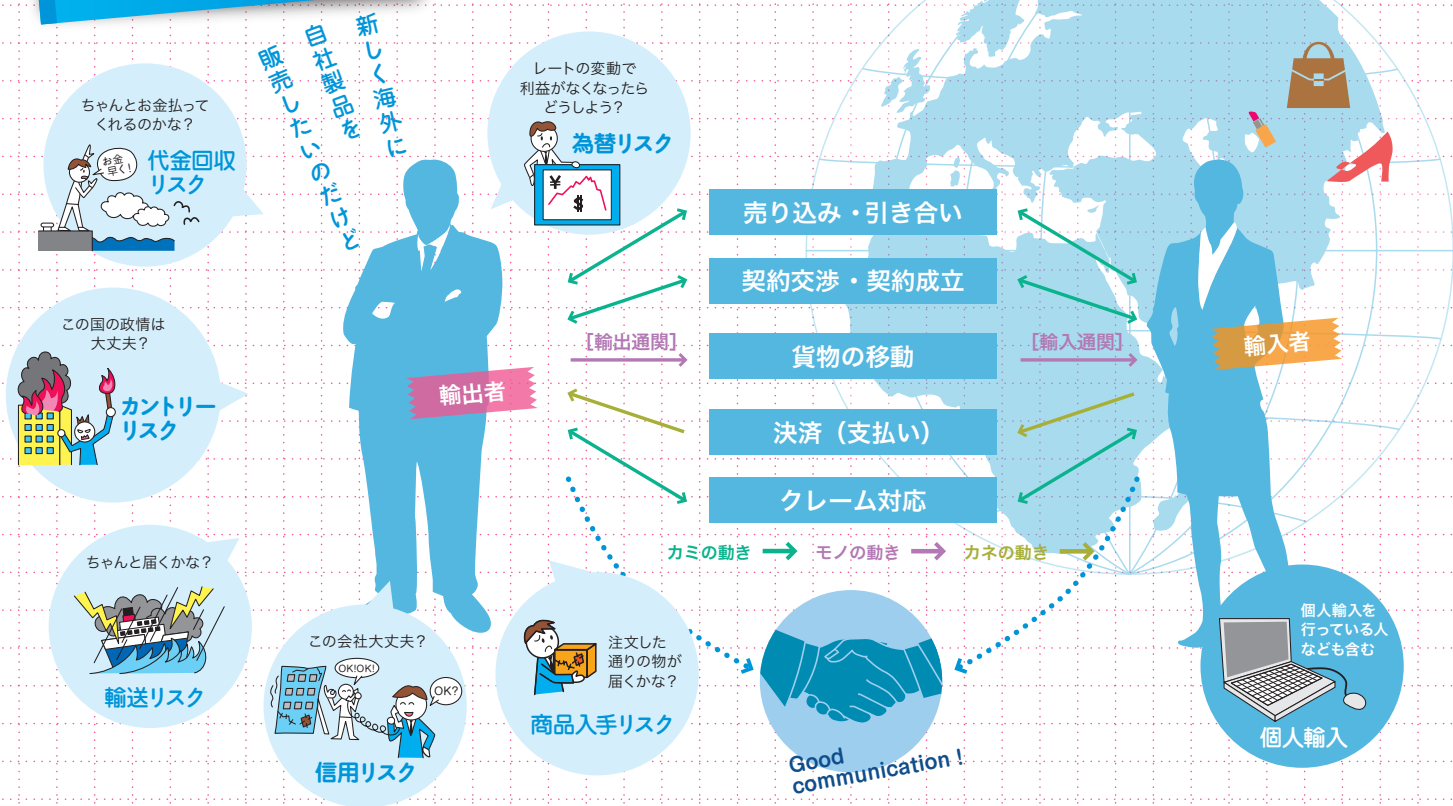


貿易実務検定[®]とは

貿易実務検定[®]は貿易に関連する自分の実務能力・知識がどの程度のレベルにあるのかを客観的に測り証明することができる検定です。商社・メーカー等においては勤務年数ごとに貿易実務検定[®]の各級合格が必須となっている企業もあり、貿易に携わる企業への勤務・転職・就職等をお考えの方、インターネットによる個人輸入を行う方や国際舞台で活躍を目指す方など、「貿易実務検定[®]」は幅広く活用でき、活躍のチャンスが広がります。

貿易の全体像

貿易というと複雑そうな気がしますが、「モノの流れ」「カネの流れ」「カミの流れ」に注目して全体をイメージすると理解しやすくなります。



貿易における 代表的な実務

海外を相手にする貿易実務ですが、様々な仕事があり、貿易の知識・書類の知識・英語・PCなどのスキルが求められます。

- ### 1 営業関連

海外への出張や海外駐在員の仕事など

マーケティング、契約交渉、クレーム対応など

市場開拓を含めて交渉相手を探し出し、交渉し、契約をまとめるなどの仕事。さらに契約成立後にクレーム対応などのさまざまなアフターフォローを行う。基本的な貿易実務の他、外国人とコミュニケーションをとれる語学力、世界を飛び回る体力、さらに商品や国際情勢などに関する幅広い知識も必要になる。
- ### 2 手続き関連

営業を支える手続き業務の専門家

船舶手配、通関、保険付保など

契約成立後の具体的な貿易手続き業務を担当する仕事。船の手配や通関、海上保険の手続きなどが含まれる。この他、こうした一連の業務を請け負う海貨業者、海上保険などを引き受ける保険会社などの仕事も含まれる。さまざまな貿易関連の法律に精通していることや多様な貿易書類を処理するスキルが求められる。
- ### 3 財務、金融関連

国際金融の実務専門家

決済、貿易金融など

輸出入の貨物そのものには関係が薄いですが、貿易に伴うお金(外貨を含め)の決済などを担当する仕事。同時に、為替予約によるリスク回避対策や外貨などの効率運用となるネットィングなど、お金の係わる様々な日常業務が含まれる。この他、銀行など貿易を支える金融機関も含まれる。日々変動する為替への対応力や国際金融界の変化に機敏に対応する柔軟性も求められる。

貿易実務検定[®]

C級・B級 試験ガイド



★★★
TAC貿易実務検定[®]講座は
日本貿易実務検定協会[®]の
認定を受けています

貿易実務検定[®]試験概要

	貿易実務検定 [®] C級試験	貿易実務検定 [®] B級試験
受験資格	どなたでも受験できます。	
試験日 [*]	(5月試験) 例年 5月中旬 (10月試験) 例年10月上旬 (3月試験) 例年 3月上旬	(7月試験) 例年 7月上旬 (12月試験) 例年12月上旬 (3月試験) 例年3月上旬
試験時間	貿易実務 1時間 貿易実務英語 45分	貿易実務・貿易マーケティング 1時間45分 貿易実務英語 1時間
受験形態 [*]	Web試験(PCもしくはタブレット・スマートフォン) ※実施月により異なります。必ず受験要項をご確認ください。	
受験料	6,270円(税込)	7,480円(税込)
レベル	貿易実務の定型業務をこなすために必要な知識を試すレベル。これから貿易実務業務に携わる方、貿易実務業務に携わって間もない方等が対象。	貿易実務経験者の中堅層で、ある程度の判断業務を行うことができるレベル。おおむね1～3年以上の実務経験。
配点	貿易実務：150点 基礎的な貿易実務英語：50点 計200点	貿易実務：150点 貿易マーケティング：50点 貿易実務英語：100点 計300点
合格基準	2科目の合計160点(80%)を基準として試験委員長の定める点	3科目の合計210点(70%)を基準として試験委員長の定める点
科目免除	貿易実務英語(C級)および貿易マーケティング(B級)に関して一部科目免除制度がございます。詳細につきましては日本貿易実務検定協会 [®] ホームページにてご確認ください。	

※受験の申込みに関するお手続きの際は、必ずご自身で最新の試験情報(日本貿易実務検定協会[®]ホームページ)をご確認ください。

出題範囲

科目	内容	C級	B級
貿易実務	貿易と環境	△	△
	貿易経済知識	△	○
	貿易の流れ	△	○
	貿易金融	△	○
	貿易書類	△	○
	貿易法務	△	○
	通関知識	△	○
	貿易保険	△	○
	外国為替	△	△
	航空貨物	△	△
	クレーム	-	△
マーケティング知識	△	-	
貿易マーケティング	-	△	
貿易実務英語	商業英単語	△	○
	英文解釈	△	○

★△印の箇所は、きわめて基礎的な事項が出題されます。
★C級及びB級はすべて選択式により行われます。

受験者数・合格率

C級試験データ

実施年月	実受験者数	合格者数	合格率
令和元年12月	1,575名	1,029名	65.3%
令和2年 3月	1,557名	1,080名	69.4%
令和2年 5月	1,601名	1,099名	68.6%
令和2年 7月	2,215名	1,509名	68.1%
令和2年 10月	2,111名	1,401名	66.4%
令和2年 12月	1,983名	1,316名	66.4%

B級試験データ

実施年月	実受験者数	合格者数	合格率
平成31年 3月	653名	337名	51.6%
令和元年 7月	696名	377名	54.2%
令和元年 12月	757名	382名	50.5%
令和2年 3月	641名	348名	54.3%
令和2年 8月	1,442名	772名	53.5%
令和2年 10月	958名	504名	52.6%

※上記の試験概要は2021年3月現在のものです。詳細な情報につきましては日本貿易実務検定協会[®]ホームページをご確認ください。

【貿易実務検定[®]試験に関するお問い合わせ】 日本貿易実務検定協会[®]事務局 ホームページアドレス ▶ <https://www.boujitsu.com>

選べる学習スタイルと 安心のフォロー制度

TACでは2種類の学習メディアをご用意していますので、お好きな方を選択してご受講ください。
また、学習を効率的に進めるためのフォロー制度もご用意しています。i-supportの質問メールや自習室など、学習を継続しやすい環境をご提供します。
※TAC提携校では、各種フォローサービスの内容が異なる場合がございます。詳細は各提携校へ直接お問い合わせください。

通信メディア



DVD通信講座

収録した講義をそのままお届けするのがDVD通信講座です。繰り返し受講をしたい方にはぴったりのメディアです。

※DVD-Rメディアでのご提供となります。ゲーム機やPC等での動作保証はしておりません。あらかじめご了承ください。



DVD通信講座の受講メリット

1 教材送付日程にあわせて学習することで、独学ではつきにくい学習のペースをつかむことができます。

2 自宅で学習できるので、ご都合にあわせて学習のスケジュールが立てられます。

3 学習上の疑問点等は質問メールにより解決できます。

4 講義を繰り返し受講することができ、苦手な論点を反復して学習ができます。



Web通信講座



講義の映像を、オンラインで配信。ブロードバンド環境とPCがあれば、配信日以降、受講期限まで、いつでも講義を受講できます。また講義音声のデジタルデータをオンラインでダウンロード。ポータブルオーディオプレーヤーやPCで再生できます。



動作環境の確認

お申込み前に必ずTAC WEB SCHOOLの動作環境ページをご確認ください。

実際にご受講される端末からTAC WEB SCHOOL (<https://portal.tac-school.co.jp/>) にアクセスしていただき、「TAC WEB SCHOOL 動作環境のご案内」ボタンから、動作環境チェックページへお進みください。

Web通信講座の受講メリット

1 PCだけではなく、スマートフォンで外出先でも受講でき、いつでも好きな時間に何度でも繰り返し受講できます。

2 講義録をダウンロードできるので、ノートに写す手間が省け講義に集中できます。

3 自分でスケジュールを作成することで、教室講座のように計画的な学習が可能です。

4 学習上の疑問点等は質問メールにより解決できます。

講義録つき

講義映像の中の板書や配られたプリントが講義録として添付されます。板書をノートに写す作業がないので、講義に集中できます。

※DVD通信講座は、DVDと合わせて発送いたします。
※Web通信講座の方は、PDF形式にてオンラインでダウンロードできます。なお、講義録の発送はございません。



随時入学可

通信講座では“始めたい時が開講日”。視聴開始日・送付開始日以降なら随時受講を開始できます。



自習室 (本科生のみ)

TAC会員は、PCやスマートフォンから自習室の検索が可能です。

TACでは、講義の行われていない教室を自習室としてTAC受講生の方に開放しています。ご自身のライフスタイルに合わせて、全国のTACの教室を自由に利用できます。もちろん予約なども不要です。

※利用にはTACの会員証が必要です。
※受講期間中に会員証の有効期限まで利用できます。
※教室の使用状況によっては自習室として開放できない場合もございます。
※一部の提携校では自習室をご利用できない場合がございます。あらかじめ各提携校まで直接お問い合わせください。



音声DLフォロー

いつでも・どこでも・何度でも 好きな時に受講できる!

Web通信講座の方は受講している同一コースの講義を、「音声DLフォロー」で学習できます。弱点補強、講義の復習や欠席フォローとして、様々ご活用いただけます。

※お申込み前に必ずTAC WEB SCHOOLの動作環境ページをご確認ください。実際にご受講される端末からTAC WEB SCHOOL (<https://portal.tac-school.co.jp/>) にアクセスしていただき、「TAC WEB SCHOOL 動作環境のご案内」ボタンから、動作環境チェックページへお進みください。 ※スマートフォン・タブレット端末をご利用の場合、一定期間に定められた(データ)通信量以上の通信を行うと、ご契約の各キャリア・プランにおいて通信速度の制御を実施される可能性があります。なお、TAC WEB SCHOOLの動画は【約500~700MB/2時間半】となります。 ※講義音声データは、AAC (拡張子は.m4a) 形式での配信になります。
※配信期限は、【5月目標】5月31日、【7月目標】7月31日、【10月目標】10月31日、【12月目標】12月25日、【2022年3月目標】3月31日までとなります。



i-support

疑問点もオンラインで解決! PCをお持ちの方は、i-supportの質問メール機能などをご利用いただけます。

大好評 質問メール

メールでいつでも講師に質問できます。疑問点は早めに解決することが大切です。TAC講師がわかりやすく丁寧にお答えします。
※質問回数の上限は5回です。



いつでもメールで質問できる!



マーク説明: DVD通信講座 Web通信講座

貿易実務検定C級試験 について

出題形式と配点は下記の通りです。

1.貿易実務 (90分)

形式	内容	配点	問題数	合計点
○×式	各記述について、正しいものには○、誤っているものには×をつける	各3点	10問	30点
選択式	文中の()に示した二つの語句から正しいものを選択する	各3点	15問	45点
語群選択式	文中の()に入る最も適した用語を語群から選択する	各3点	10問	30点
三択択一式	各問について三つの選択肢から正しいものを選択する	各3点	15問	45点
合計点				150点

2.貿易実務英語 (45分)

語群選択式	英語で示された用語の意味(和訳)を語群から選択する	各2点	10問	20点
三択択一式	各英文について、最も適切な和訳を三つの選択肢から選択する	各2点	10問	20点
三択択一式	英文(書類やレターなど)を読んで、設問の解答を三つの選択肢から解答を選択する	各5点	2問	10点
合計点				50点

貿易実務検定 B 級試験 について

出題形式と配点は下記の通りです。

1. 貿易実務 (マーケティングと合わせて 105 分)

形式	内容	配点	問題数	合計点
○×式	各記述について、正しいものには○、誤っているものには×をつける	各 3 点	10 問	30 点
選択式	文中の () に示した二つの語句から正しいものを選択する	各 3 点	15 問	45 点
語群選択式	文中の () に入る最も適した用語を語群から選択する	各 3 点	15 問	45 点
四択択一式	各問について四つの選択肢から正しいものを選択する	各 3 点	10 問	30 点
合計点				150 点

2. マーケティング

形式	内容	配点	問題数	合計点
○×式	各記述について、正しいものには○、誤っているものには×をつける	各 2 点	10 問	20 点
選択式	文中の () に示した二つの語句から正しいものを選択する	各 2 点	5 問	10 点
四択択一式	各問について四つの選択肢から正しいものを選択する	各 2 点	5 問	10 点
語群選択式	文中の () に入る最も適した用語を語群から選択する	各 2 点	5 問	10 点
合計点				50 点

3. 貿易実務英語 (60 分)

英文解釈 三択択一式	各英文について、最も適切な和訳を三つの選択肢から選択する	各 3 点	10 問	30 点
和文英訳 三択択一式	各和文について、最も適切な英訳を三つの選択肢から選択する	各 3 点	3 問	9 点
主要用語 三択択一式	各英文について、最も適切な用語を三つの選択肢から選択する	各 2 点	2 問	16 点
英文ビジネス文書 三択択一式	英文ビジネス文書を読み、各問についての解答を三つの選択肢から選択する	各 3 点	15 問	45 点
合計点				100 点

2020年10月・12月試験対策
 2021年3月試験対策 貿易実務検定®講座
 C級本科生 進度表

回数	項目	該当箇所	頁
第1回	貿易実務とは、信用状を使った貿易の流れ、市場調査	第1章～2章	P4～32
第2回	契約交渉の流れ、信用状の基礎知識、輸入信用状	第2章～3章	P34～58
第3回	輸出信用状、信用状統一規則、ディスクレ、取引条件、インコタームズ①	第3章～5章	P58～99
第4回	インコタームズ②、海上輸送、運賃、船荷証券	第5章～6章	P100～127
第5回	航空輸送、貨物海上保険、PL保険	第6章～8章	P128～167
第6回	貿易保険、代金決済、船積み～輸出準備	第9章～10章	P166～195
第7回	輸出準備～代金回収	第10章	P196～221
第8回	輸入実務の流れ（貨物の引取り、代金決済）	第11章	P224～251
第9回	関税の仕組み、減免税制度、外国為替相場、為替変動リスクの回避、国際貿易体制	第11章～13章	P252～276
第10回	国際貿易体制と日本、貿易実務英語	13章ほか	P278～303 P442～445
第11回	過去問解説講義	試験問題集	

使用教材：最新貿易実務ベーシックマニュアル（改訂4版）

貿易実務検定®C級試験問題集（第8版）

TAC貿易実務検定®講座

7月・12月・3月試験対策 貿易実務検定®講座 B級基本講義 進度表

回数	項目	該当箇所	頁
第1回	C級との違い、学習の進め方、海上輸送（運賃と国際法、船荷証券）、インコタームス	第1章	7～33
第2回	航空輸送（業務の流れ、運送証券、運賃）、複合一貫輸送（国際法、ランドブリッジ）、貨物海上保険復習	第2章・3章	37～63
第3回	貿易に関わる保険（貨物海上保険、貿易保険、*P L保険）	第3章	63～75
第4回	信用状の実務、*信用状統一規則	第4章	79～105
第5回	フォーフェイティングと国際ファクタリング、資金回収方法、輸入金融、輸出通関の流れ	第4章～6章	106～124
第6回	輸出通関（*外為法、申告、船積み手続き）、輸入通関（*外為法、申告）	第6章	125～136
第7回	輸入通関（手続き、輸入等差し止め、貨物の引取り、関税制度）	第6章	138～146
第8回	課税価格、付帯税、クレーム処理（発生から解決まで）、外国為替（仕組み、リスク回避等）	第6章～8章	146～187
第9回	過去問解説講義	試験問題集及びテキスト*2	

使用教材：貿易実務アドバンストマニュアル（第3版）

貿易実務検定®B級試験問題集（第8版）

- * アドバンストテキストに記載がないため、ベーシックマニュアルを参照します。
- *2 第9回過去問解説講義では試験問題集に加え、アドバンストマニュアルおよびベーシックマニュアル（お持ちでない方はC級受験時に使用されたテキスト）も使用します。詳しくは第8回講義でご案内しております。

TAC貿易実務検定®講座

2020.12月現在